

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	国語	科目	現代文B		単位	2	単位
対象コース	カレッジ理系	コース	対象クラス	2年	4C理系 MC	組	
使用教科書	『高等学校 改訂版 現代文B』 (第一学習社)						
使用副教材	『進研 WINSTEP 現代文2 [三訂版]』 (ラーンズ)						

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

**学習目標:** この科目を学習して何を身につけてほしいのか

近現代のすぐれた文章を読み、ゆたかな鑑賞力と柔軟な表現力の育成を目指します。正確な知識と客観的な読解のもと、「書く力」「話す力」を養い、総合的な国語力を磨きます。また、現代社会に潜む様々な問題について多角的に考える力を高めます。

**学習内容:** この科目で学習する大まかな内容

以下の二つの分野を学びます。

- (1) 現代の評論文…客観的思考力、問いに対して正確に答える能力を身につけます。
- (2) 近現代の文学的文章…すぐれた文学作品を読み解き、豊かな言語表現力を身につけます。

**学習方法:** この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

授業においては「考える手順」を身につけることが最も大切です。正答に至るまでの思考の手順をノートに書きためましょう。問題文(口頭での質問も含む)の意図を読み取り、考え、答えを表現する方法を授業で体得しましょう。

(2) 家庭

家庭学習の時間は、暗記とドリル学習にあてましょう。知識を定着させる場が家庭学習です。家庭で得た知識を用いて授業で思考することが、最も効果的な学習方法となります。

# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

**評価方法:** 何を使って評価するのか

- (1) 定期考査→年5回、定期考査を実施します。授業での学習内容から出題します。
- (2) 小テスト→年間を通して漢字テストを実施します。
- (3) 長期休暇中の課題→読書感想文、現代文の演習問題を宿題として課します。
- (4) 学期中の課題→授業理解の確認のための宿題を課します。

評価における定期考査の割合

70 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

**評価の観点:** この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

問題を解決しようとする意欲、つまり考えようとする態度を重視します。

(2) 思考・判断

合理的であるかが評価の軸となります。恣意的な思考は評価しません。






(3) 技能・表現

口頭・文章ともに、受け手に配慮した簡明な表現であることを重視します。

(4) 知識・理解

定着度だけでなく、知識を得ようとする日常の取り組みを評価します。

## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
一	4	評論(3) 『手の変幻』清岡 卓行	対比型の評論文を読み、二つのものを比較しながら筆者の考えを把握する力を身につけます。抽象的な語句の意味を正確に読み取り、理解する力を養います。  	●	●		●	
	5	詩 『永訣の朝』宮沢 賢治	近代詩・現代詩に親しみ、鑑賞の方法、技法について学び、想像力を豊かにし、言葉に対する感覚をみがきます。詩の中の、ひとつひとつの言葉にこめられた、作者固有の意味を理解します。  	●	●		●	
	6	評論(1) 自他の「間合い」 鷲田 清一	一般論と異なる視点の評論文であり、修飾、被修飾関係を注意深くたどり、比喩や類比関係から意味を読み取ります。読解手順をふまえて、全体の論理展開を捉えます。		●		●	
二	8	小説(1) 『山月記』中島 敦	情景と心理を把握する力を磨きます。読書と別の観点から表現に沿った的確な読解をした上で、主題に迫ります。	●	●		●	
	10	小説(2) 『タオル』重松 清	小説を主体的に読解・鑑賞する姿勢を身につけます。小説の提起する問題を、自己の問題に引きつけて考えることによって、人生に対する理解を深めます。  	●	●	●		
	12	評論(4) 『働かないアリに意義がある』 長谷川 英祐	社会と人間とのかかわりを、論理的に分析する力を養います。指示語の確認、比喩表現の解釈など細部の読み取りを確実なものとしながら、文章全体の構造を把握します。  	●	●		●	
三	1	評論(1) 『未来世代への責任』 岩井 克人	評論の論旨を正しくとらえ、従来の視点とは異なる筆者独自の主張を理解します。異文化や社会内の人間関係のあり方について、自分なりに意見を深め、文章で表現する力を養います。  	●	●		●	



【SDGsの各ターゲットについて】

ちょっとだけ詳しく内容を知りたい方は、アイコンをクリック



【道徳教育について】

高校の道徳教育についてちょっとだけ知りたい方は  
アイコンをクリック



※FSVに接続してる場合のみ

下のアイコンは、該当する「学習の内容」の場所に  
コピーして下さい

SDGsターゲットアイコン



道徳教育アイコン

